

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号  
実用新案登録第3190000号  
(U3190000)

(45) 発行日 平成26年4月10日 (2014. 4. 10)

(24) 登録日 平成26年3月19日 (2014. 3. 19)

(51) Int.Cl.

F 1

A 6 1 F 13/15 (2006. 01)

A 6 1 F 13/18 3 1 O Z

A 6 1 F 13/511 (2006. 01)

A 6 1 F 13/18 3 8 O Z

A 6 1 F 13/472 (2006. 01)

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

|           |                          |                     |           |
|-----------|--------------------------|---------------------|-----------|
| (21) 出願番号 | 実願2014-410 (U2014-410)   | (73) 実用新案権者         | 514024974 |
| (22) 出願日  | 平成26年1月28日 (2014. 1. 28) | ▲曾▼國安               |           |
|           |                          | 台湾新竹市東區自由路16巷19弄17號 |           |
|           |                          | 3樓                  |           |
|           |                          | (74) 代理人            | 100080252 |
|           |                          | 弁理士 鈴木 征四郎          |           |
|           |                          | (72) 考案者            | ▲曾▼國安     |
|           |                          | 台湾新竹市東區自由路16巷19弄17號 |           |
|           |                          | 3樓                  |           |

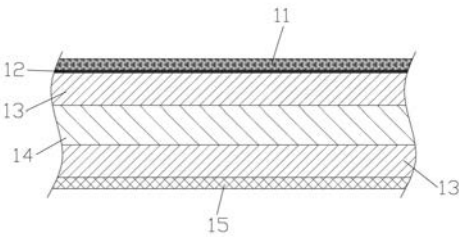
(54) 【考案の名称】 生理用ナプキン構造

(57) 【要約】

【課題】 汚れが付着せず、静菌性、透液性・通気性を有し、皮膚が触れる際べとつかない生理用ナプキン構造を提供する。

【解決手段】 生理ナプキン本体は、最上部に表層11を有する。表層11下には、添加物層12と、吸水バリア層13と、吸水保水層14と、最底部に形成された底層15とが順次積層される。添加物層12内部の添加物はタンパク質分解酵素である。表層11は、ナノスケール碎石粉末紡糸繊維構造の不織布構造であり、汚れが付着せず、皮膚が触れる際べとつかないように静菌性・抗菌性、透液性・通気性を有する。

【選択図】 図2



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

生理ナプキン本体は、最上部に表層を有し、  
表層下には、添加物層と、吸水バリア層と、吸水保水層と、最底部に形成された底層とが  
順次積層され、  
添加物層内部の添加物はタンパク質分解酵素であり、  
表層は、ナノスケール碎石粉末紡糸繊維構造の不織布構造であり、汚れが付着せず、皮膚  
が触れる際べとつかないように、静菌性・抗菌性、透液性・通気性を有することを特徴と  
する生理用ナプキン構造。

**【考案の詳細な説明】**

10

**【技術分野】****【0001】**

本考案は、生理用ナプキン構造に関し、特に、ナノスケール碎石粉末紡糸繊維構造の表  
層と、タンパク質分解酵素の添加物層とを有し、生理用ナプキンを使用する際、静菌性・  
耐汚染性の機能を有する生理用ナプキン構造に関する。

**【背景技術】****【0002】**

生理用ナプキンは、現代女性にとって必要不可欠な日用品であり、生理による分泌物又  
は経血を吸収し、下着が汚れることを防ぎながら女性器を清潔に保つために用いる。

また、従来の生理用ナプキン構造の表層は、皮膚に密着されるため、皮膚に触れるとき  
の不快感を減らすためにパルプ又は不織布材料からなる。

20

このような材料を実際に使用する際、通気が悪いために蒸れ易くなって細菌が増え、臭  
いがしたり病気に罹る虞がある。

**【考案の概要】****【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

本考案の目的は、生理用ナプキンの表層がナノスケール碎石粉末紡糸繊維の不織布構造  
からなり、汚れが付着せず、静菌性、透液性・通気性を有し、皮膚が触れる際べとつか  
ない生理用ナプキン構造を提供することにある。

本考案のもう一つの目的は、生理用ナプキンの表層と吸水バリア層との間に添加物層を  
形成し、添加物はタンパク質分解酵素成分であり、このタンパク質分解酵素成分は、主  
に静菌性及び消臭・芳香機能を有して気持ち良く使用することができ、静菌体が生理用ナ  
プキンに使用されているため、細菌による感染を効果的に防ぐことができる。

30

**【図面の簡単な説明】****【0004】**

【図 1】図 1 は、本考案の一実施形態に係る生理用ナプキン構造を示す斜視図である。

【図 2】図 2 は、本考案の一実施形態に係る生理用ナプキン構造を示す断面図である。

【図 3】図 3 は、本考案の一実施形態に係る生理用ナプキン構造の表層構造を示す斜視図  
である。

**【考案を実施するための形態】**

40

**【0005】**

図 1 及び図 2 を参照する。図 1 及び図 2 に示すように、本考案の一実施形態に係る生理  
用ナプキン構造の生理ナプキン本体 10 は、人体の皮膚に接触される表層 11 を最上部に  
有する。表層 11 下には、添加物層 12 と、吸水バリア層 13 と、吸水保水層 14 と、最  
底部に形成された底層 15 とが順次積層されている。底層 15 は、通気性及び不透液性を  
有する材料からなる。吸水バリア層 13 は、液体を吸収して表層 11 へ液体が逆戻りする  
ことを防ぐ。吸水保水層 14 は主に液体吸収層からなる。

**【0006】**

表層 11 と吸水バリア層 13 との間には、添加物層 12 が形成されている。添加物層 1  
2 内部の添加物は、タンパク質分解酵素である。このタンパク質分解酵素は、主に静菌性

50

及び消臭・芳香機能を有するため、気持ち良く使用することができる。また、添加物の静菌体を生理用ナプキンに使用すると、女性の生理期に引き起こされ易いモニリア性膣炎、かゆみなどの病気を予防し、細菌による感染を効果的に防ぐことができる。

【 0 0 0 7 】

図 3 を参照する。図 3 に示すように、表層 1 1 は、ナノスケール碎石粉末紡糸繊維 1 1 1 からなる不織布構造であり、透液性を有して液体が逆戻りしない上、汚れが付着し難く、静菌性・抗菌性、通気性などが優れた長所を有し、皮膚が触れる際べとつかずに気持ち良く使用することができる。

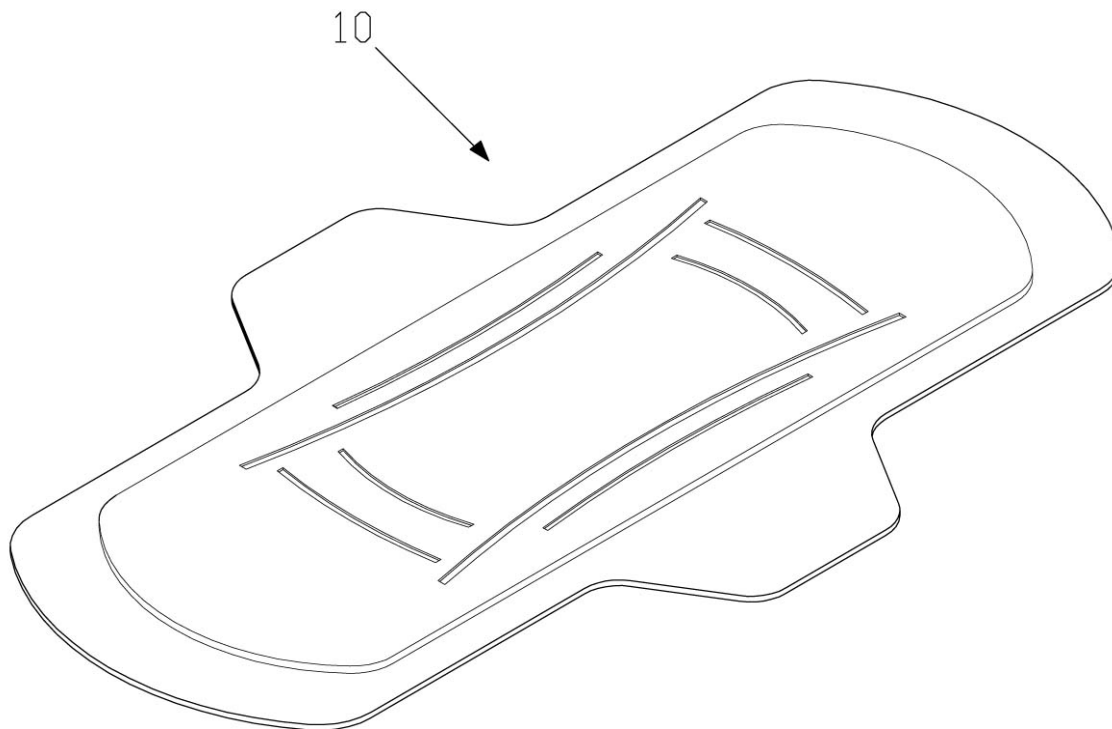
【 符号の説明 】

【 0 0 0 8 】

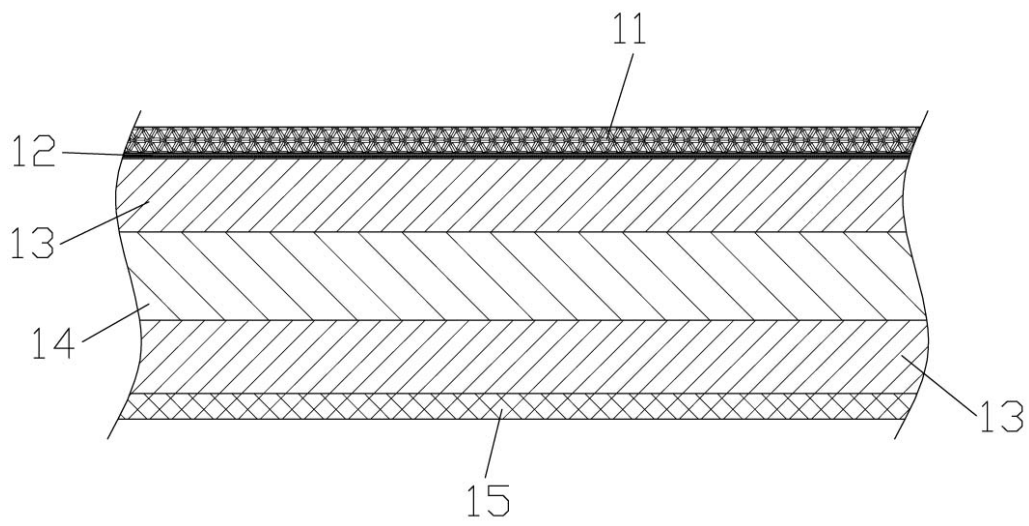
- 1 0 生理ナプキン本体
- 1 1 表層
- 1 2 添加物層
- 1 3 吸水バリア層
- 1 4 吸水保水層
- 1 5 底層
- 1 1 1 ナノスケール碎石粉末紡糸繊維

10

【 図 1 】



【図 2】



【図 3】

